

- | | | |
|---|-------|--|
| 1 | 審議会名 | 令和4年度 第3回黒沢洞合自然公園整備検討委員会 |
| 2 | 日 時 | 令和5年2月15日(水) 午前10時から |
| 3 | 会 場 | 会議会場：共用会議室301 |
| 4 | 出席者 | 浅川委員、中田(昭)委員、窪田委員、猿田委員、那須野委員、佐藤委員、大浜委員、
中田(信)委員、東本委員、榛葉委員、百瀬委員、南安曇農業高等学校田口さん、藤原さん |
| 5 | 市側出席者 | 西澤子ども家庭支援課長、赤羽課長補佐、岩淵 |

協 議 事 項 等

I 会議の概要

1 開 会

2 あいさつ

3 協議事項

- (1) 検討委員会委員の新規任命及び再任について …資料1
- (2) 南安曇農業高校による現地視察の報告について
- (3) 公園の管理・運営に関する提案について …資料2、3
- (4) 今後のスケジュール …資料4

4 その他

5 閉 会

II 協議概要

1 開 会

2 あいさつ

委員長より、開会および挨拶をした。

3 協議事項

(1) 検討委員会委員の新規任命及び再任について (資料1)

委員就任挨拶

(委員①)

本日は、卒論のテーマとする生徒2名を連れてきた。今後ともお世話になります。

(委員②)

希少生物、植物や地下水の保全等の観点から関わらせていただきたい。

(2) 南安曇農業高校による現地視察の報告について

(南安曇農業高等学校生徒)

11月29日環境デザインコースで現地視察を行った。

また、2月4日 豊科郷土博物館、こたつ講座で黒沢洞合公園 始まり物語を受講した。それらを踏まえ提案したい。

現地の4つの段を活用し、日本の四季をイメージし、全ての段に川や池を通して、段差、自然を活かしたビオトープや、一番下の段に駐車場を設置したらどうか。

(委員①)

現地視察には8名のコースの生徒が参加し、過去公園の設計に三郷中学生が関わった経過の説明も受けた。当時の中学生の意思を継げればと思っている。

2名が卒論のテーマで取り組む意向がある。今後他の生徒も巻き込み取り組みたい。

2名は事あるごとに現地に赴く予定。植物・動植物が生育・繁殖でき、皆さんが集まれる場、特に子供たちの学習の場になれるような公園をつくっていききたい。

(委員③)

四季を感じるビオトープは面白いと思う。4つのビオトープの具体的なイメージは。

(南安曇農業高等学校生徒)

春は、ミツバ・つつじ・山吹・山桜、夏は、サルスベリ・アジサイ・ハイビスカス、秋は紅葉・イチョウ、冬はサザンカなど季節の変わり目などを感じる楽しい空間とし、子どもたちの学習に繋がるようなビオトープにしたい。

(委員④)

公園の設計に三郷中学生が関わったという過去の経過を踏まえて考えてくれていることはうれしく思う。専門的な設計業者もいるので、学習の場として今回の機会を活用いただきたい。

卒論としてまとめるのが一つのゴールであるので、最初から最後まで自分たちですべて行うのではなく、皆さんが提案して形になったという所を切り取り、まとめるような形でよいと思う。

周囲の環境により自然が変化していくという点を捉えて議論していく必要がある。自分たちの考えが公共事業で具体的な形になっていく経験は多くないと思うので、是非楽しんでやってほしい。

(委員⑤)

多様な意見、視点を今回会議に参加している2人が中心となり、うまくコーディネートしてほしい。高校生が生み出す⑦大人では考えられない視点を大切にしてほしい。

(委員⑥)

卒業しても洞合公園は残る。長くかかわってもらえるよう楽しんで取り組んでもらいたい。

(委員⑦)

公園の具体的なデザイン、設計について、南農に全部委託するのか。委員の意見も汲み上げてもらいたい。その機会は設けられるのか。

(事務局)

基本的に委員会で決定した基本テーマと南農の生徒の意見を設計士が調整を図り、ある程度形となったところで委員に示す段取りと考えている。その中でイメージするものがあれば伝えてもらいたい。

以降 非公開

(3) 公園の管理・運営に関する提案について

(4) スケジュールについて